



今年の入試を振り返って

今年は移転 1 年目で生徒の数も増え、秋以降はコースも多岐に渡り、私をはじめスタッフ全員大忙しでした。特に、夏期講習からの入会者には個別レッスンや複数コースの受講で対応していただき、何とか無事に合格していただいた方もいました。

慶應幼稚舎に合格 1 名、立教に 1 名、成城学園に 1 名をはじめ淑徳小には内部推薦を含み、15 名が合格しました。合格した方のみんなに言えることは、やるだけのことをやってくれたということです。私の指示に信じて付いて来てくださり、最後は幼稚園と同じ位通って来てくれた方もいます。準備が十分でない、やはり合格はいただけません。

淑徳コースでの全員が合格はできませんでしたが、勉強期間の短さが 1 つの原因です。来年度の淑徳コースは早めの開設で、基本的な備えていなければならないことをしっかりと時間をかけて教えたいと思います。小学校側で合格人数を 10 人減らした事、兄弟でも厳しい現実を理解していただけたらと思います。

11 月の淑徳コース最終日では、フープを使った自由遊びをグループでしましたが、淑徳小の試験でフープ・ボール・ジェンガ・パズル（ブロック）のうち 2 種類の違うもので遊ぶという自由遊びが今年始めて出ました。今までの指示のあるグループ行動でなくなりましたが、淑徳コースや淑徳オープン模試で遊具でない物を与えてのみんなで考える自由遊びは、何度も対応してきました。特に、フープは各グループで遊び方を考えさせ、楽しく遊べました。試験では、自分の提案がお友達に受け入れられて楽しく遊んだと報告が来ています。

やはり、ペーパーはしっかり取らなくてはいけないのですが、子供の本来の姿を見るようになってきている傾向で、このグループ行動は大切なところです。

来年の淑徳コースは早くからの開設と、ペーパーの内容も例年出題のものだけでない対応を考えています。前半は受験に対する姿勢作りに重点をおきます。

また、今年は何といても幼稚舎に合格した事が嬉しいニュースでした。受験体操・絵画制作・個別で絵のレッスン・表現発表と年長コース以外にも頑張って受講して幅広い力をつけました。手先の訓練はペーパーにもまして重要と感じました。そして、最後までお子さん本人が楽しく通っていた事が大きいと思います。

今年全体の印象は、総合的に成長されたお子さんが合格を勝ち取っています。

はじめて来た時は、幼くてハサミも糊も満足に扱えなく、プリントでもわからないと涙していたお子さんが、最後は夏期講習で頑張り上位の成績を取りました。星野学園に合格されて御家族と一緒に喜びました。

また、立教が志望でそこしか考えたくないという方には、大変私も心配しましたが、筑波の願書を出す事もなく合格しました。お話が反応よく出ず、手先も余り得意ではなかったのですが、立教コースはもちろん、絵画制作、個別の絵レッスン、受験体操、年長コースから総合的に力をつけてとうとう悲願達成。テストの内容を一番よく覚えていたのはそのお子さんです。絵本の感想を聞かれた時の答えを聞いて、これでよし！と感じました。

まさにご両親の親力です。

最後まで、ねばり強く諦めないご両親と、きちんと躰られたお子さんの勝利です。私もこれからは生徒の個性を大事にしながらも、回りを見る事のできる、場を考えられる子供、集中力のある子供を育てて行きたいと思います。

一緒に喜び遭えることができるように、これからの1年も頑張りたいと思います。

室長 矢崎 絵美